

3類型	鉋工業品	通巻番号	6-19-018
地域資源名	熊野筆	認定日	平成19年10月12日
地域	広島県熊野町	所管省庁	経済産業省

事業名：熊野筆の技術を活用した「化粧筆」の開発・販売事業化

会社名：有限会社竹田ブラシ製作所
 連絡先：TEL:082-854-0144
 FAX:082-854-0478

所在地：広島県安芸郡熊野町中溝3538-3
 H P：<http://takeda-brush.com/>

事業概要(新たな活用の視点)

江戸時代から伝わる歴史ある「熊野筆(注)」の技術を活用した高品質で利便性の高い「化粧筆」を開発し、日本国内及び海外への販売を行なう。

当社は、利便性の高い化粧筆に関する国際特許を取得していることから、それを活用した新商品開発を行うこととした。

筆関係の商品は、安価な海外製品が市場を席巻しているのが現状であるが、熊野筆の持つ、独特の繊細さや緻密さは、女性の肌に適しており、また、それに穂先の品質以外の利便性も付加することで、より、商品価値が向上できると考えている。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

穂先の品質については、既に国内外で十分評価されている上、利便性の高い化粧筆関係の特許を取得していることから、大きな差別化要素になると考えられる。

◆市場性

化粧筆は、成人女性であれば、必ずといって良いほど所持している化粧道具の定番であり、市場規模大きい上、必ず買い替え需要のある商品であることから、利便性が高い高品質の新商品を投入することで、需要の喚起が期待できる。

◆販路

現在、百貨店への販売ルートを有しており、それは今後も増える予定であることから、利便性が高い高品質の新商品を投入することで、より一層の販路拡大が期待できる。

地域資源における関係事業者との連携

今後、新商品の需要が拡大した場合には、熊野町内で同様の技術を持っている事業者と協力し、穂先の部分の製造委託を行ないたいと考えている。

これは、筆の生産技術が地域内で伝承されている熊野町ならではの取り組みであり、今後の技術伝承にも寄与する。



【脚注】熊野筆

熊野筆は、江戸時代末期に誕生したといわれる。明治時代以降、庶民に教育が普及したことにともない、生産量が急速に拡大。国内生産の8割を占める日本最大の筆産地となった。1975年には「伝統工芸品」の指定を受けている。

